



鉄路復旧が待たれるJR山田線（陸中山田駅跡）



豊間根信議員

公共施設

早期再建について

迅速に進めていく

【質問】 県立山田病院の候補地を今定例会において打ち出すべきでは。

【佐藤町長】 再建が迅速に行える津波浸水区域外の町有地を中心に選定作業を進めている。

【質問】 山田消防署を今後再建する県立山田病院と併設し、ヘリポート設置を計画してはどうか。

【佐藤町長】 いずれも当町の拠点であり理想的であると考えるが、また、相当の広さを要し、ヘリポートは騒音・風圧などの問題もあるので、その可能性にむけて検討している。

【質問】 先の見えないJR山田線復旧の復興計画への影響についての考えは。

【佐藤町長】 早期復旧を要望しているが明確な回答がない。鉄路での復旧を前提として協議を重ねていきたい。

【質問】 年数がかかれば復興計画の妨げになるのでは。鉄路復旧がないという前提も含めた計画も備えるべきではないか。

【沼崎復興推進課長】 JRの復旧を前提として町づくりを進めたい。多様なリスクも考慮し復興計画を実施していく。

建設行政

豊間根地区インターチェンジ周辺整備を

機会を捉え国へ要望

【質問】 今回の津波を教訓として、インターチェンジ上

下線乗り入れ化を初め、災害に備えた施設を周辺に整

備すべきでは。

【佐藤町長】 インターチェンジの上下線乗り入れ化については難しい状況である

が、機会を捉え国へ要望していく。

施設整備については現在、計画されている土地改良事業を優先したい。

【質問】 「沿岸を支援する遠野市」の位置付けを豊間根

地区に持たせるために、施設整備を町が打ち出すべきでは。

【阿部建設課長】 周辺の利活用・整備については企業誘致なども含め、担当課と協議しながら対応していく。

緊急雇用

復興支援事業室の設置理由は

管理指導・事業推進のため

そのほかの質問

◆復興計画の進捗状況について

◆がれき処理について

◆町長の公約について

◆新たな町づくりの実現について

◆早期合意形成について

◆住宅再建について

◆上下水道の整備について

◆農林水産業の早期復興について

◆商工業について

◆雇用確保について

◆コミュニティ組織に対する支援について

◆再生可能エネルギーについて

◆ほか2件

【質問】 大雪りばあねつと事務所内に、課長級含め2名を配置した目的は。

【佐藤町長】 平成24年度の復興やまだ応援事業委託料が7億9000万円にのぼり、適切な事務事業執行の指導と事業推進を支援するために配置した。

【質問】 金額が大きくなったので管理指導するために配置したというが、大雪りばあねつとが8億近い予算を投入するに十分な事務体制を確認した上で委託したのではないか。

【甲斐谷総務課長】 平成23年度の4億3000万円の事業において反省点があり、24年度に繰り返し返さないために配置した。

【甲斐谷総務課長】 平成23年度の4億3000万円の事業において反省点があり、24年度に繰り返し返さないために配置した。